

# 市民のひろば

市民の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。



## 夫

婦で地元「かのや」をはなれ帰ってきました。地元に戻ってきまわりの方に支えられる有り難さを痛感する日々です。平成に生まれ、令和を迎えた今、親となり、子育てに戸惑いながらも、微笑むと微笑みかえしてくれる息子に沢山の愛をもって、すごしていきたいです。地元のパワーに支えられ、地元で子育てできる幸せをかみしめながら成長を楽しみたいです。この帰鹿(帰かのや)の記念にバラを植えたいです。(はるまきさん・29歳・女性)

はるまきさん、鹿屋へようこそお帰りなさい。住み慣れた地元での子育てはいかがですか。

笑って、泣いて、怒って、様々な表情を見せてくれるお子さんにパワーをもらいながら充実した日々を過ごされていることと思います。

市では、親子で気軽に自由に利用

できる「つどいの広場」を市内5か所(田崎地区学習センターなど)に開設しています。3歳以下のお子さんがあるご家庭が対象で、子どもの遊び場の提供だけでなく、子育てアドバイザーによる相談対応や絵本の読み聞かせなど楽しいイベントを定期的に開催しています。また、妊娠・出産・育児をサポートする「母子健康手帳アプリ」では、子育て情報を配信していますので、是非、ご活用ください。



▲つどいの広場



▲母子健康手帳アプリ

## 6

月号(No.322)をみて、認知症の方を日々支える一員として、認知症を知ること、正しく理解することの大切さを再認識しました。本人を支える、家族を支える、そして時には認知症の方に日々接しているケアマネージャーやその他施設等の職員も支えなければならぬと感じています。(Y・Mさん・33歳・女性)

知っているようで、あまり知らない「認知症」のこと。

今後、高齢化が進むとともに認知症高齢者の増加が見込まれる中で、まずは、認知症のことを正しく知り、理解し、可能な限り早い段階で見つけることが重要です。

認知症になっても住み慣れた地域で、家族とともに安心して穏やかな生活を送れるように、地域全体で支えあうことが重要だと思います。

## い

つもスポーツをテレビで見ている人たちは、会社とか団体の人だけでやっていると思っていた。広報かのやを読んで、いろいろなボランティアに個人でも参加できることを知った。(M・Sさん・女性)

「かごしま国体・かごしま大会」、「東京オリンピック・パラリンピック」の開催を目前に控えた今、スポーツボランティアへの注目が高まっています。スポーツには、「する」楽しみ、「みる」楽しみのほかに、イベントの運営やサポートなど「ささえる」楽しみもあります。広報かのや6月号(No.322)で掲載したように現在「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会 鹿屋市大会運営ボランティア」と「鹿屋市スポーツボランティア」を募集しています。

多くのボランティアの皆さんと一緒に、スポーツを「ささえる」とい

う新たな楽しみを発見してみませんか。

## 毎

回、鹿屋、大隅地区のイベントや取り組み等の情報を楽しみに見せていただいております。息子が高校生という事もあり、「スゴいぞ!」〇高は、好きなコーナーです。若い子達の活躍を今後も楽しみにしています。(S・Oさん・51歳・女性)

平成30年4月号(No.294)から掲載を開始した「スゴいぞ!〇高」のコーナーは、今月号からコーナータイトルを「輝け!ジュウダイ」にリニューアルし、市内の小・中・高生の活躍を紹介していきます。記念すべき第1回目は、5月26日に開催された輝北小学校の大運動会です。今後、新しい時代を担う鹿屋の10代の様々な取り組みや活躍を取り上げていきますので、ご期待ください。

かのやばら園・霧島ヶ丘公園

いま旬!



## アガパンサス

ギリシャ語の「愛」と「花」の言葉でできたアガパンサスは、涼しげな色合いの小さな花が特徴。この時期ばら園では、約100株が見頃を迎えます。